

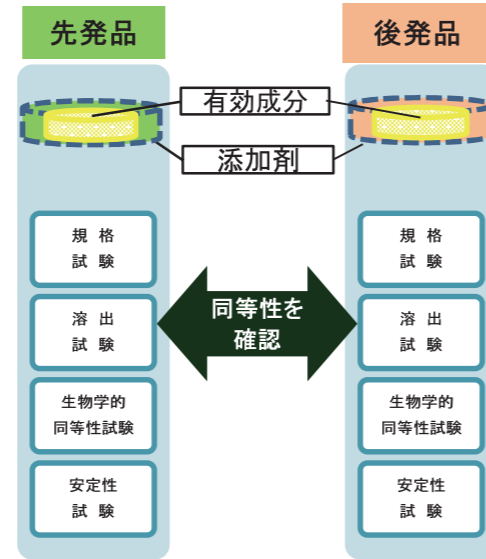
ジェネリック医薬品の特徴

先発医薬品の特許期間を満了した医薬品

先発医薬品と同じ有効成分を使用
品質、効き目、安全性が同等

患者にやさしい製剤工夫が
されているものもある

低価格



オーソライズドジェネリックとは

- 先発医薬品メーカーから許諾を受けて製造されるジェネリック医薬品です。原薬、添加物、製造方法等が先発医薬品と同じジェネリック医薬品です。
- もちろん先発品より安い価格で販売されます。

アドバンスドジェネリックとは？

患者さんや医療関係者の情報を集めて、服用しやすくするための工夫が施された後発医薬品です。

(工夫されている例)

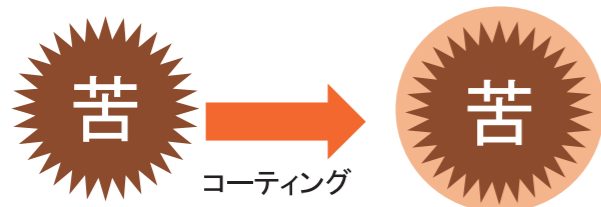
- 吸湿性をおさえ一包化しやすい工夫
- 飲みづらい錠剤を小さくする
- 間違って飲まないように色・形・印字を工夫
- コーティングをして苦みを少なくする
- OD錠に変更



一包化しやすく



小型化



コーティング



間違い防止の工夫(印字)

保存版



ジェネリック医薬品 すすめかた虎の巻



和歌山県は、全国に先行した形で高齢化が進んでいることなどから、一人当たりの医療費が全国平均を上回る水準で推移しています。また、患者負担を軽減するために使用がすすめられているジェネリック医薬品の本県の使用割合は全国的にも低い状況にあります。国民皆保険制度を将来にわたり堅持していくためには、医療に要する費用が過度に増大しないようにしていくことが重要です。

こうした現状のなかで、薬局におけるジェネリック医薬品の使用割合を高める目的で、使用割合が高い薬局の薬剤師を対象にヒアリングを実施し、そのノウハウについてとりまとめました。是非ともこれを活用し皆様の力でジェネリック医薬品の安心使用を促進していきましょう。

ジェネリック医薬品を 患者さんに選んでもらえるために

その1 工夫した在庫管理を！

- 調剤室内を整理し、先発医薬品とジェネリック医薬品を分けて配置する。
- 先発医薬品1種類につきジェネリック医薬品1種類を採用することとし、近隣の医療機関の状況と患者さんの希望を聞きながら他の品目を置く。



その2 患者質問票・お薬手帳・薬歴の活用を！



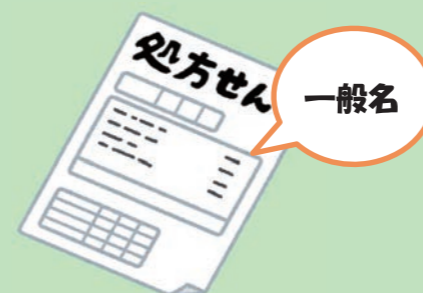
- 患者質問票の1番目の項目に「ジェネリック医薬品を希望するか」を配置する。
- お薬手帳を手がかりに、他の医療機関でジェネリック医薬品を使用していないかを情報収集する。
- ジェネリック医薬品を希望するかどうかを薬歴のわかりやすいところに記載して、処方変更があってもスムーズにジェネリック医薬品に変更できるようにしておく。
- ジェネリック医薬品希望シールをお薬手帳に貼っていないか確認する。

その3 減額通知を活用しよう！

- 最近、医療保険者などが発行していることが多く、持参する人も多い。
- 特に、この通知を持ってきた人には説明しやすい。



その4 一般名処方 cameたらチャンス！



- 一般名による処方箋が発行され始めてからジェネリック医薬品に変更しやすくなった。
- 医療機関と連携して、一般名による処方箋を発行してもらったり、採用するジェネリック医薬品を選択した。

その5 もちろん丁寧な説明を！

- 患者さんとの信頼関係を築くことでジェネリック医薬品を選択してもらえるようになった。(コミュニケーションが大切)
- 1回断られても丁寧に何回も説明した。特に処方変更のときは成功する可能性が高い。
- 変更できるものから変更して、徐々に増やした。
- オーソライズドジェネリックは、安全性の確保について説明しやすいので患者さんにわかってもらいやすい。



その6 アドバンスドジェネリックの特徴を知っておく！



- 飲みやすいように工夫されていると説明する。
- 味が改良されて飲みやすいと説明する。特に小児にすすめやすい。



その7 その他にも意見が！

- とにかく患者さんのためにジェネリック医薬品に変えるという気持ち大切、そのためには社内教育が重要である。
- 「国がすすめている」と説明する。
- ジェネリック医薬品メーカーによってはQRコードで飲み方を見ることができ、患者さんにも説明しやすい。

